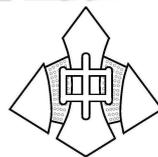


- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和3年10月29日(金)発行
【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

手をたずさえて

“仲間と過ごした特別な時間”を大切な思い出に…! 2021.10.22 “復活祭”となった友垣祭 開催

テーマ『願～life as before～』早く元通りの生活に!!

今年度のテーマは、『願～life as before～』でした。新型コロナウイルスの影響で生活の仕方が変わった今、二年前の日常が戻ってほしいという想いを込めて、3年古川里咲さんが考えたものです。そして、そのイメージから美術部の生徒達が背景装飾に創り上げました。テーマからイメージしたのは“宇宙”でした。次のような解説がしおりの中にありました。「宇宙の中で太陽は、天の川銀河にあ



背景装飾“宇宙”



古川さんと安田さん

り、人間をはじめ全ての命を育む偉大な中心的存在です。そのエネルギーは、私達の不安や悔しさをも飲み込み、太陽のもとに繋いでくれると思うのです。元旦の初日のパワーに願いを込めるように、より良い元の生活に戻れるよう、あきらめず、夢を叶えるために前進しようという想いを表現してみました。」制作に時間をかけたすばらしい作品で、みんなの想いにも繋がるものです。古川さんと美術部部长2年安田陽向さんの2名には開祭式の中で表彰が行われ、実行委員長の伊藤吉太郎君から賞状が渡されました。

“学級のカ”で心が揺さぶられた合唱コンクール

【演奏曲目・指揮者・伴奏者(演奏順)】

年	組	曲名	指揮者	伴奏者
2年	2組	手紙	◆吉田里桜	青柳樹里
	1組	未来へ		
	4組	心の瞳	◆安田陽向	—
	●3組	あなたへ	◆鈴木 碧	◆横田花穂
1年	3組	あすという日が	吉田伊吹	◆佐藤悠希
	●2組	大切なもの	◆工藤楓奈	橋本 蓮
	1組	あさがお	大越晴琉	上遠野結芽
3年	3組	証	宮田真由	◆近藤 凪
	◎2組	あなたに	◆伊東 新	—
	1組	友～旅立ちの時～	佐藤美咲	◆神田ももか

◎最優秀賞(金賞) ●金賞 ◆指揮者賞・伴奏者賞

本番が近づくにつれ、各クラスの士気が高まり、本番はどのクラスもすばらしい演奏でした。甲乙つけがたく審査員泣かせのコンクールでした。

1年生は1年生らしい伸びやかで初々しい歌声でした。2年生は男声と女声のバランスのとれたまとまりのある合唱でした。3年生にもひけをとらないすばらしい歌声でした。来年度の合唱が楽しみです。そして、3年生。さすがでした。無伴奏で美しく軽やかに歌い上げた3年2組が見事“最優秀賞”に輝き、11月11日に西部体育館(例年会場となる市民文化センターが使用できないため)で開催される郡山市音楽学習発表会に学校代表として出場します。惜しくも僅差で賞に届かなかった1組と3組も、最後のコンクールにける意気込みが伝わってくる熱い演奏で、心が揺さぶられました。3年生はどのクラスが金賞になってもおかしくない合唱でした。そして、もう一つ印象に残っているのは、表彰式の3年の結果発表で2組の最優秀賞がコールされた時、1・3組の生徒が勝者を讃える拍手をおくっている姿でした。その生徒達の温かくてやさしい心根に対して、逆に拍手をおくりたいと思います。



全体合唱“翼をください”



合唱コンクール 表彰式

その生徒達の温かくてやさしい心根に対して、逆に拍手をおくりたいと思います。

『合唱コンクール』を振り返って…

今回“金賞”を受賞したクラスの代表生徒にその想いを書いてもらいました。

私たち1年2組は、「校内合唱コンクール」において、金賞を受賞することができました。私は、この結果を通して、努力は報われることを実感しました。初めのうちは、まじめに練習をしない人がいたり、声が出ていない人がいたりして、歌を完成させることができるのかと不安になっていました。けれど、文化祭が近づき本格的な練習が始まると、少しずつ悪い所が改善されていき、良い仕上がりになっていきました。文化祭1週間前からはみんなやる気満々で、金賞を獲ることで頭が一杯でした。本番はたくさんの人の前で歌うので、緊張してしまうのではないかと心配していましたが、今までの練習の成果を発揮することができました。今回の合唱コンクールでは、1年2組の目標「一人一人の努力とみんなの協力で作るぞ！力作！」を達成することができたと思います。加えて、クラスの絆が前よりさらに深まりました。貴重な経験を来年、再来年につなげていきたいと思います。(1-2 工藤楓奈)

1年2組「大切なもの」



2年3組「あなたへ」



僕たちのクラスは、友垣祭の合唱コンクールで、伴奏者賞、指揮者賞、金賞の三冠をとることができました。それは、過去に様々なことがあり、それを乗り越えてきたからだと思います。各教室の割り当てが始まった頃、クラスみんなはバラバラでした。僕はテノールのパートリーダーを務めていましたが、そんなみんながとても心配で、このままやっていけるかと不安になる時もありました。それから、昼休みと放課後の練習は次第に良くなってきましたが、朝だけはみんなやる気がなく、とてもダラダラしていました。文化祭当日の週の火曜日の朝、テノールパートはやる気がなく、みんな声が出ないと弱音を吐いていました。そして、先生に「文化祭まであと少しなのに、このままで終わるの？」と指導を受けました。その一言でクラス全体が動きました。それから、みんなはがんばり、途中であきらめることなく練習しました。あまりの変化に感動しているクラスメイトもいました。そして、とうとう文化祭当日になりました。みんなで心を一つにし、自分達の中の最高の声で歌い終ることができました。受賞発表の時は、みんなうれしかったと思います。この金賞は、今回の合唱だけで終わりではなく、これからもみんなで互いに支えていかなければなりません。合唱コンクールで学級力がとても上がり、みんなで力を合わせれば、なんでも乗り越えられることと同時に、クラスメイトや先生の大切さも知ることができました。また、このようにできたのは、2年生の学年みんなが一生懸命練習していたおかげでもあります。このような感謝の気持ちを忘れずに、3組の学級目標でもある“ONE TEAM”になっていければいいと思いました。(2-3 下重心社)

3年2組「あなたに」



今年の友垣祭も昨年のように合唱コンクールだけにならないか、とても不安でした。ですが、校長先生、先生方、生徒会の皆さんのおかげで、元の形に近い友垣祭が開催されました。文化祭のメインイベントである校内合唱コンクールでは、毎年3年生が心を揺さぶるような演奏を披露しています。自分も今までは憧れであった3年生の合唱が出来るのかと考えると、だんだんと焦るような気持ちが出てきました。初めは音程もリズムも取れなかったものの、練習を重ねていくとだんだん声も心も一つにまとまっていき、本番を迎えました。演奏前に組んだ円陣のおかげで緊張もほぐれ、3年2組らしい歌を歌うことができたと思います。同じ金賞を目指し競い合った3年生の想いと共に、学校代表として、浅野稔先生とクラス全員で発表会に出場します。応援よろしくお願いします。(3-2 鈴木遼介)

今回のクラス合唱でも、合唱部などの専門集団の合唱にはない“特別な味わい”と“不思議な力”を感じることができました。当日に至るまでの合唱に向けての話し合いや練習、そこには様々なドラマがあったと思います。時には意見が衝突したり、物事がうまく進まずジレンマに陥ったりしたこともあったことでしょう。しかし、一方では友だちの良いところに気付くなど、新たな発見があったり、仲間との絆を深めたりすることができたと思います。そういった“一人一人が歩んできた軌跡=苦楽を共にした仲間との時間”を大切にしてほしいと思います。また、練習への取り組みの真剣さの度合い、どれだけ本気になって取り組めたかが、必ず結果に反映されるということも忘れないでください。

